

特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟

2019年度 第2回理事会

議 事 録

日 時：2019年12月21日（土）13：00～16：00

場 所：日本財団ビル 2階 第一・第二会議室

出席者：椎名茂、古市隆一、隅野礼雄、安藤佳代子、二星謙一、鈴木久三郎、保科実、藤本泰輔、東海林史朗、山口聖子、内海けい、小林清美、岩間秀子（途中出席）
（13名）

委任出席：大日方邦子、渡辺孝次、中村実彦、荒井秀樹、狩野亮、新田佳浩、夏目堅司、櫻本利幸、井上真司、徳田康、
（10名）

欠席：中村勝彦（1名）

欠席監事：大内智、宮田隆司（2名）

椎名会長より定足数の確認がなされ、24名中名出席23名（委任状出席を含め）であり、定足数を満たし本会は成立するとの発言がなされた。議事録署名人には、古市理事、隅野理事が指名され了承された。書記には、事務局石丸が指名された。

会長より挨拶があり、次第の確認がなされ、定款の則り議長は会長が行うことが確認され会議が開始された。

椎名会長挨拶

国立競技場の竣工式に行ってきました。木をふんだんに使ったもので屋根のない構造でした。オリンピックを控えとても盛り上がった式典でした。

【審議事項】

1. 連盟の新体制について（常任理事・委員長・副委員長・担当理事・委員）

椎名：配布の資料に基づき常任理事会で検討した常任理事・各委員長・副委員長・担当理事・委員についての説明を行った。クラシフィケーション委員会には二星さんを加える。

古市：ID-ASのチームスタッフと選手間に溝が出来ている。新年度からではなく早くスタッフを切り替えることを検討してほしい。

東海林：北海道で代わりとなるスタッフがいる。1月にINAS参加選手の合宿があるので自分が参加するようにする。

椎名：ID-ASについては後程、個別に相談しましょう。アンチドーピング委員会の副委員長に上東さん（JISSのメディカルスタッフ）、経歴上適任なので就任してもらいましょう。ノルディックチームから推薦のあった荒井さんのノルディックの副委員長就任もOKでしょう。。

椎名：新体制について承認を求めたところ全員一致で承認された。

2. 2021札幌ワールドカップ開催について

椎名：札幌市では2年おきにノルディックのワールドカップを開催する流れになっている。アルペンは今まで開催に至っていないが、2030年オリパラ札幌開催招致のためにも札幌市としてはアルペンの大会を行った実績を残したい意向がある。2023年では札幌招致には間に合わないので2021年に開催することになった。札幌市からの助成金は出るが、アルペンとノルディックの2大会とって2倍の助成金は難しい。札幌市スキー連盟の人員確保も同時期に大会が続くため難しい。予算としては絞ってアルペン7000万円とノルディック6000万円を考えている。

理事の皆さんで開催についての考えを聞かせてほしい。担当には桜本理事を予定している。

安藤：日程は？

内海：会場は？

椎名：2月から3月頃でまだ決まってない。ノルディックは西岡、アルペンは手稲。

スポンサー集めを積極的に行う必要がある。

椎名：2021年に札幌で2大会を開催する方向で進めることについて承認を求めたところ、全員一致で承認。

3. 2019年度の普及事業計画について

安藤：令和2年度のスポーツ団体開催助成の申請可能件数についての説明を行った。

基金助成について国内で3大会予定している。

くじ助成については4事業を予定している。

基金の大会の内、IDアルペンとチェアスキーチャンピオンシップはWC開催となると自己資金での大会となる。

椎名：講習会の参加者を増やさなければ意味がない。スタッフの数のほうが多いような講習会にはしてほしくない。参加者が10名に満たない事業は終わらせることも考えてほしい。普及事業で底辺を広げることは重要、人を増やす努力をしてほしい。

小林：たかつえでの開催では障害者の参加者は10名を切っている。会場変更することによって参加者が増えるので検討している。また予算を切り詰めることも検討している。

椎名：予算を下げることを考えるより、参加者を増やすために多少予算が増えても構わないと考えている。WEBを利用する方法とかいろいろと検討材料はあるはず。

保科：参加者の募集はどのように行っているのか。

小林：神奈川県リハビリテーションセンターの患者を中心に募集している。

古市：口コミだけでなく、WEBに掲載して興味を持つ方に来てもらうようにできないのか。

保科：全国にあるリハビリテーション病院にアプローチすることを進めたい。

椎名：ITを使って広く募集することを連盟として考えましょう。隅野理事・内海理事・保科理事を担当にして検討してください。

山口：整形外科病院にポスターを掲示することはできないのか。年齢制限は？

小林：小学生以上で車椅子で自走できる方なら大丈夫です。

椎名：計画書の基金事業とくじ事業を2021年度に行うことについて、自己資金事業には金額精査を条件に承認を求めたところ、全員一致で承認された。

4. 日本障がい者スポーツ協会特別功労章、特別賞の推薦について

石丸：ノルディックチームから荒井さんを特別功労章に、川除選手を特別賞に推薦があった。ID-AS チームからは木村選手を特別賞に推薦する。

椎名：3名を推薦することについて承認を求めたところ全員一致で承認された。

【報告事項】

1. 2020パラアルペン競技大会アジアカップ大会について

石丸：大会要項が確定したこと、大会役員について、上田市教育委員会への働きかけ、チラシを作成したこと、大会の実働役員の割振り等について報告した。

椎名：同時期に開催されるさっぽろスノーフェスタについての概略説明があった。アジアカップについては、札幌への行く必要があるので前半の参加になる。

石丸：大日方理事から大会ロゴについて、A案とB案のいずれにするかを決めてほしいとの要望があることを伝えた。

椎名：参加理事の挙手で決めることにした。

挙手を求めたところA案で決まりました。

2. 新スポンサーについて

隅野：前田建設工業株式会社がゴールドパートナーとして契約した。期の途中なのでアジアカップの冠スポンサーになった。ID-AS チームのウェアにロゴを掲載する。

日本キャタピラー合同会社がアルペンチームのスポンサーになった。期の途中なので、ID-AS のウェアにロゴ掲載とアジアカップ等の大会の協賛スポンサーになった。

アジアカップについては、コーセー株式会社も協賛していただくことになりました。

3. クラシフィケーション委員会の事業計画について

山口：クラシフィケーション委員会としての事業計画を作成した。教育活動を充実させることを主眼においた。

安藤：活動の予算化がされていないが、大会で活動した場合のお金の出どころを明確にしてほしい。

鈴木：大会に関連した活動であれば、大会の予算から支出すべきと考える。

椎名：今後は予算化してクラシフィケーション委員会の事業は、独自予算から支出するようにしてください。大会で必要とされる場合は、大会予算から支出してください。

古市：パラサポ助成金の教育事業として予算申請することも検討してください。

4. フェースブックの運用について

内海：運用について資料に沿って説明された。パラノルディックはオフィス友恵が編集権限を持っているので、権限移譲を要請中。

椎名：オフィス友恵の速報配信もホームページと連動するような仕組みにしたほうがいい。

5. 車賃の源泉徴収と少額公共交通機関利用の際の領収書の取り扱いについて

鈴木：配布資料について説明がされた。

6. 2020年度の専任スタッフの選任について

石丸：各チームからの推薦のあったスタッフと次年度は継続出来ないスタッフの説明を行った。継続出来ないスタッフの代わりとなる人を現在検討中なので、専任スタッフの選任については、次回常任理事会（1月22日）で審議すること、そこでの決定に一任してもらうことを説明した。

【その他】

1. スノーボードチームのサービスマン確保について

二星：現在、須合氏（元SAJのサービスマン=現在フリー）にアプローチしている。これより条件提示を行う。
本件起案書は事務局長、強化本部長に提出済み。

2. 普及委員会から会員向けに事業計画をメール配信していることについて

安藤：今後もっと有効な方法を考えてほしい。ボランティアの募集についても方法を考えてほしい。
保科：各地域に障がい者スキー協会・クラブがあるがそこの連携はどうなっているのか。
椎名：今後、各団体との連携を進めてゆきたいと考えています。

3. アンチドーピング委員会から

岩間：選手個人からの薬品情報はJISSの上東さんに相談している。TUE申請について個人情報の取り扱いをどうしたら良いのか検討してほしい。

以上、審議事項、報告事項、が全て審議、報告され、議長より閉会の通告があり、理事会を終了した。

2019年12月21日

議事録署名人

| | |
|-----|-------|
| 議 長 | 椎名 茂 |
| 理 事 | 古市 隆一 |
| 理 事 | 隅野 礼雄 |